

5 駅前広場の全体的イメージ

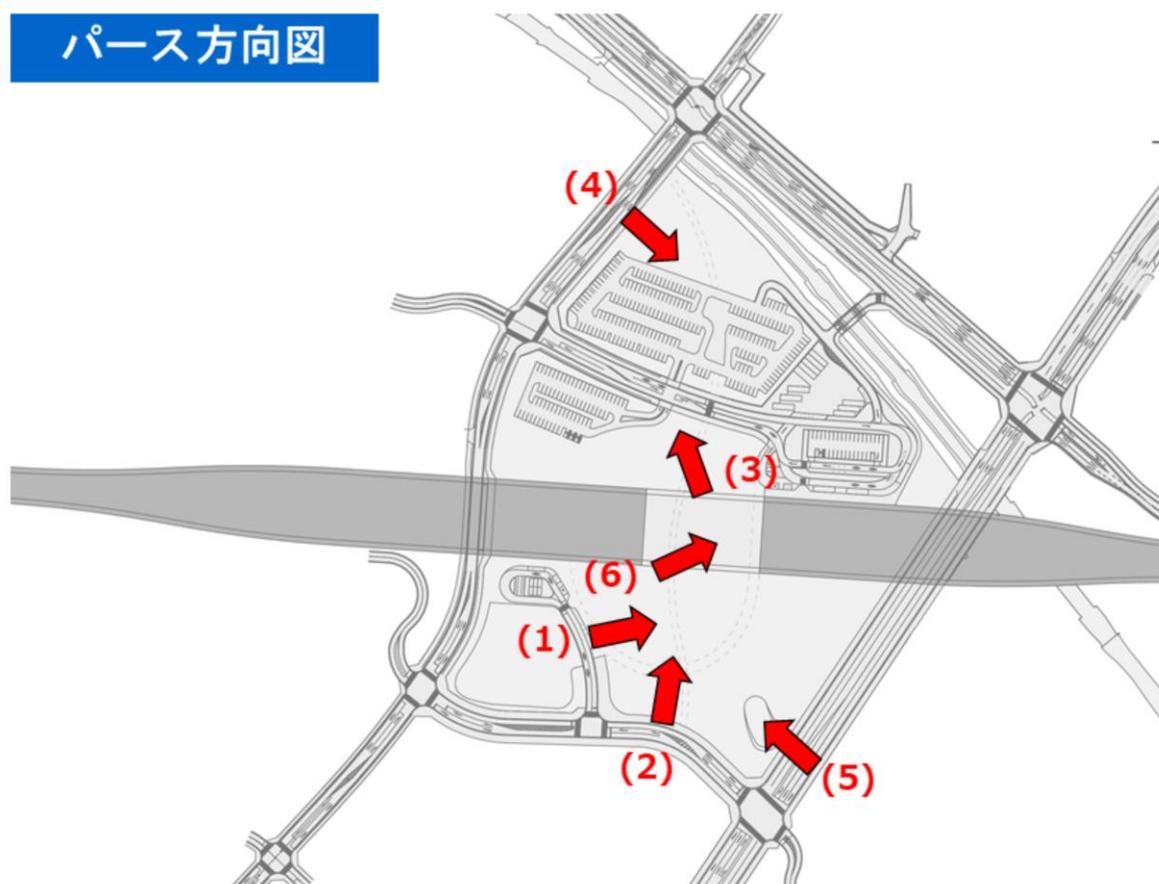
広場や木造の大屋根の下の多目的な使い方

- (1) 南側交流広場から北東を望む
- (2) 南側交流広場から北を望む
- (3) 高架下空間から北を望む
- (4) 北側多目的広場から南東を望む
- (5) 南側調整池から北西を望む①②③
- (6) 高架下空間から北東を望む①②③④⑤

・パースに描かれた駅舎は、JR東海に対して飯田市からデザインを要望して行くに当たり、検討している段階の駅舎図となります。

・駅舎の設計や外観・デザインは、今後、飯田市との協議を経てJR東海が決定することとなります。

パース方向図



パースの向きを現した図面です。

(1) 南側交流広場【イベント活用(獅子舞)の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

南側交流広場から東側を見たイメージ

・広場や木造の大屋根の下を活用し、例えば獅子舞のお祭りなどの大きな催しもできる設えとなります。左手にはリニアの駅舎と高架下空間にある自由通路が見えています。また、駅舎越しには伊那山地が望めます。

(2) 南側交流広場【木造の大屋根・高架下空間の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

南側交流広場から駅舎正面、高架下空間を見たイメージ

・手前には、東西方向に水引をイメージさせるライン状のランドスケープが展開され、広場では家族でのんびりしたり、散歩したりできる、居心地の良い空間として活用されています。ガラス越しには、ホームに停車しているリニア中央新幹線が見えています。中央に見える自由通路の向こうには、北側交流広場が見通せます。

(3) 北側交流広場【左奥はイベント活用(人形劇)の様子】



高架下空間の自由通路から北側交流広場を望んだイメージ

・左手に見える野外ステージでは、木造の大屋根の下で人形劇が行われています。広場の背後には河岸段丘、さらにその向こうには山脈(やまなみ)が望めます。

(4) 北側多目的広場【イベント活用(マルシェやキッチンカー)の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

北側多目的広場から南側の伊那山地を望んだイメージ

・この広場では、マルシェやキッチンカーによるグルメフェスタなど多目的な利用ができる設えとし、必要に応じて駐車スペースとしての活用もできます。

(5) 南側調整池【晴天時（イベント（木育））の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

南側調整池から北西を見たイメージ

・通常は緩やかなステップに囲われた多目的広場としても活用することができます。ここでは、中央で子どもたちが集まって木育のワークショップが行われています。背後には河岸段丘、さらにその向こうに風越山が望めます。

(5) 南側調整池【雨天時の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

南側調整池(大雨の時の様子)

・豪雨などの際には、雨水を一時的に溜めて、河川への放流量を調整します。

(5) 南側調整池【雨上がり後の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

南側調整池(大雨の雨上がり後の様子)

・雨水を一時的にためていた調整池から徐々に河川へと放流するなど、急激に増水することを抑える「スポンジシティ」の考え方を導入しています。

5 駅前広場の全体的イメージ (6) 高架下空間から北東を望む①

(6) 高架下空間【物産(水引) 販売・デジタルサイネージ・ブックカフェ等の様子】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

高架下空間のイメージ

・高架下空間中央部から、北東方面を望んだ全体のイメージです。

(6) 高架下空間【飯田の水引や阿島傘から着想を得た木質化された空間】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

高架下空間のイメージ(天井)

・飯田の水引や阿島傘から着想を得た広場の木造の大屋根の天井が、そのまま内部まで連続していきっているイメージを示したものです。

(6) 高架下空間【デジタルサイネージによる情報発信】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

高架下空間のイメージ(デジタルサイネージによる情報発信の様子)
・柱に飯田の貴重な地域資源である水引や獅子舞等の様子などイベント
情報が映し出されています。

(6) 高架下空間【高架下空間の利用イメージ(ブックカフェ・コワーキングスペース)】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

高架下空間のイメージ(ブックカフェ・コワーキングスペース)

・右手奥に見えるブックカフェには、リモートワークやコワーキングが可能なスペースも設けられており、駅ナカのビジネススペースとして活用されます。

(6) 高架下空間【高架下空間の利用イメージ(地域の工芸品や特産品の展示・販売)】



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

高架下空間のイメージ(展示・販売の様子)

・地域の工芸品や特産品の展示・販売が行われているイメージです。